

第50回分子研セミナーのご案内



医学研究分野への計算構造生物学の応用

演者:金子 寛生 教授

日本大学 文理学部 物理生命システム科学科

日時:2014年8月7日(木)17時30分～

場所:分子医学研究所 5F会議室



Abstract

蛋白質の立体構造予測、蛋白質間相互作用解析、分子動力学シミュレーションといった計算分野の研究が基礎医学や臨床医学の場でどのように役立ち、貢献し得るかについて2つの具体例を挙げて解説致します。

1つは、転写因子がどのように核内に選択的に輸送されているかについてそのメカニズムを明らかにしたという内容で、基礎医学者との共同研究成果となります。転写因子の核輸送を制御することにより、再生医療分野への応用やガンをはじめとする遺伝子発現異常に基づく病気の新規治療法の開発に貢献できると考えています。

もう1つは、遺伝性難聴の様々な症例において、特定のアミノ酸変異が難聴を引き起こす分子メカニズムについて、臨床医学者と共に構造生物学的な立場から明らかにした研究についてご紹介します。ここでは、Noggin という蛋白質にみつかった新規な変異と難聴の関係を例にあげ、議論します。

興味のある方はご自由にご参加下さい。

連絡先:遺伝子制御学 近藤 豊(内線 8196)